



週報

入間ロータリークラブ

宮崎会長テーマ

「楽しくやろう・ロータリー」(Let's have fun-Rotary)

2024-2025 RI 会長:ステファニー・アーチック 2570 地区ガバナー五十幡和彦 会長:宮崎正文 幹事:田中快枝

36号 3381例会 2025年 4月 3日(木)

<ビジター・ゲスト>

第3グループガバナー補佐 倉片 順司 様

先日の IM には大勢の参加をいただき、ありがとうございます。IM の開催にあたり会費を昨年度より千円値上げさせて頂きましたが結果として昨年度と同じ金額で運営する事が出来ました。今日は38名会員分 38,000 円をお返しいたします。皆さまのご協力に感謝して私の挨拶といたします。



もう一つは、3/27 で「花見例会」としてニックスでの花見会でした。両日とも、花見という事で、会員の皆様及び、ご家族の皆様に多数ご参加いただきありがとうございました。

その時、新会員の伊藤飯信支店長が、退会いたしました。1 ヶ月だったので、大変寂しい気もいたしますが、次の鶴ヶ島支店で頑張ってもらいたいと思います。たぶん、そのうち新しい入間支店長が入会していただけたらと思います。

そして4月に入り、新年度になりました。役所の方でも各企業の方でも、人事異動が多数あると思います。最近、役所では定年の60歳を過ぎても、まだ働けるそうです。役職定年と言って、階級が下になって働くというシステムです。段々と65歳以上まで、働けると思います。

さて、4/4は二十四節季の今年5番目で、「清明」(せいめい)という日だそうです。これは春の清々しい季節を表す言葉だそうです。

「清明」とは、「清浄明潔」(せいじょうめいけつ)の略で、万物が清らかで生き生きとした様子を表すのだそうです。

説明しますと、

- ・時期は、4月上旬から中旬ごろ(4/4~19頃)
- ・特徴は、春風が吹き、空気が新鮮で爽やかになり、天地が明るく清らかになる季節で、様々な草木の花が咲き誇り、お花見シーズンでもあります。
- ・風習としては、中国では「清明節」というものがあり、ご先祖様のお墓参りやお墓の掃除をするのが習わしだそうです。また、沖縄でも、同じ時期に「清明祭」というお墓参りの行事があるそうです。
- ・「清明」に旬を迎える食べ物として、カツオや新玉ねぎ、タケノコ、イチゴなどがあり、清明の時の植物は、カタクリ、ヒエンソウ、レンゲソウなどがあるそうです。初カツオやタケノコご飯など、食べたいですね。

<今月のお祝い>

会員誕生日	奥富茂生君	
婦人誕生日	豊田恵子様	新井馨様
	細田佳恵様	宮崎洋子様
結婚記念日	友野政彦君	晝間和弘君

会長の時間

宮崎正文会長

まず、始めに吉沢誠十バスト会長のご母堂様が、お亡くなりになりました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。4/11にお通夜があるそうですので、参列させていただきますし、少し受付のお手伝いもさせていただきますので、よろしく願いいたします。



本日は第3グループ倉片ガバナー補佐には、お忙しい中、お越しいただきありがとうございます。あと、3ヶ月ですね。でもこれを言うと、晝間エレクトに怒られるので、あまり言いませんが。倉片さん、あと少し頑張りましょう。さて先月は、2度の移動例会でした。会長の時間を話さなくていいのが、本当に良いですね。初回は、3/13に日帰り美術館で、「山種美術館」で鑑賞後、川越「山屋」での懇親会です。

入間市の牛沢の山の斜面に、カタクリが咲いています。行ける方は、見に行ってください。やはり、今の季節が一番いいですね。熱くなく寒くなく、好きな季節です。ただ、最近の気候はわからない日が多いですので、心配です。

4月の国際ロータリーは、「環境月間」です。ロータリーでは、人類共通のレガシーである「環境」を守ることが重要だと信じています。ロータリーは、天然資源の保全と保護を促進し、環境の持続可能性を高め、人と環境との調和を促す活動を支援しています。

補助金やその他のリソース（目的達成に必要な要素又は役に立つ要素）を提供し、地域特有のソリューション（抱える問題等を解決・回答する）と革新を奨励しながら、気候変動と環境破壊の原因、およびその影響の削減に取り組んでいます。環境といっても、様々な活動があると思います。ガバナー月信4月号にあるように、「環境」に関する奉仕プロジェクトの目標は、沢山あります。たとえば、陸地・沿岸・海洋・淡水資源の保護と回復。天然資源の管理と保全。生態系の健全さの改善。気候変動と気候混乱の原因など、いろいろな課題があります。

この先、ロータリーとして何が出来るかを、クラブの中で話していければと思います。時間が足りないので、次年度でやっていただけたらと思います。また、環境に対しても、グローバル補助金等を活用した環境に対する事業もいいと思います。

3月の国際ロータリーは、「水と衛生月間」でしたから、4月が「環境月間」となっているので、同じような事が続いています。

自分が環境について思いつくのは、八潮市で発生した下水管の陥没事故です。まだ、落ちた方は見つかりませんが、陥没のせいで下水管の上流に住んでいる方が、下水が流せない事態になりました。これは大変なことです。水もむやみに使えないのですから。また、つい最近では能登半島での地震や豪雨災害で、インフラが大分壊れました。水道はもとより、下水も使えない。住んでいる方は大変なことです。

2月から、全国で山林火災が多発しました。大船渡、長野、山梨、岡山、今治、宮崎と。山火事だけと思われても、民家までも延焼してしまう。これも大変なことです。この災害が、入間市で起きたら大変なことですし、想像もできません。災害は忘れたころにやってきます。今、いろいろと話したことも、環境に影響があると思います。自然の力は、怖いのです。これからも色々と、ロータリーで考えられたらと思います。

<幹事報告>

田中快枝幹事

<協議事項>

1. 5月、6月のプログラム
2. 大船渡大規模山林火災被害地 50,000円支援
3. 米山記念奨学生 マックジャンさん（ベトナム）5/15例会出席予定
4. 5月から10月までをクールビズ期間とする
5. 3/13日帰りR美術館、3/27花見例会（ニックス）会計報告
6. 4/20地区協議会 駿河台大学交通誘導のお手伝い数名募集
7. 入間市ゴルフ協会年会費 10,000円

<報告・予定>

- I
- 4/3(木)R財団委員会（川越）
 - 4/5(土)飯能RC60周年記念式典
 - 4/12(土)財団第四回オリエンテーション
 - 4/13(日)米山第一回カウンセラー会議（アルカーサル迎賓館川越）
 - 4/14(月)青少年交換オリエンテーション
 - 4/17.18(木・金)クラブ活性化セミナー
 - 4/20(日)地区研修協議会（駿河台大学）
 - 4/22(火)入間・入間南合同例会（プリーツ・I）（昼間狭山ゴルフ）
 - 4/24(木)現新理事会（夜間西山荘）
 - 5/24(土)ロータリーの森奉仕活動（秩父羊山公園内）
 - 5/25(日)所沢西RC創立40周年記念式典
 - 5/28(水)4クラブ合同懇親会
- II
- 4/8(火)豊岡中・黒須中入学式
 - 5/7(水)入間市民憲章推進協議会総会



●委員長報告

[プログラム委員会]

細田浩司委員長

5月と6月のプログラム

- 5/1・8 定款7条第1節により例会取りやめ
- 5/15 第6回クラブ協議会
- 5/22 講師卓話 新日本学院理事長 ビ・リー様
- 5/29 新緑夜間例会（昼間ゴルフ）
- 6/5 各小委員長事業報告
- 6/12 5大奉仕委員長事業報告
- 6/19 会長・幹事・SAA挨拶
- 6/26 最終例会（昼間ゴルフ） うかい鳥山



[ロータリー美術館]

豊田義継館長

先日の日帰り美術館に27名の大勢の参加ありがとうございました。ご協力いただいた親睦委員会に感謝申し上げます。



[職業奉仕委員会] 間野尚委員長

本日で我らの生業は最終となります。大塚会員時間はタップリとあります。宜しくお願いします。



[社会奉仕委員会] 一柳達朗委員長

入間RCで米山記念奨学生のマック ジャハンさん(ベトナム・女性)の受け入れが決まりました。4/13にカウンセラー会議と顔合わせがあり、晝間会員、菅野会員と私で参加して来ます。よろしく願い致します。



[晝間和弘エレクト]

ロータリー会長エレクト研修セミナー報告

2025年3月29日 東松山・紫雲閣にて (PETS) が開催され、五十幡ガバナーをはじめ坂口インカミングガバナー、次年度ラーニングファシリテーターの水村バストガバナー、地区役員の皆様(一柳米山記念奨学統轄委員長)と会長エレクト参加。



はじめに坂口インカミングガバナーより次年度国際ロータリー会長となる、マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ氏(ブラジル・サンパウロ)のメッセージ「Unite for Good」～よいことのために手を取りあおう～の発表があり奉仕活動を行ううえで増強に重点をおき「よいことのために手を取りえる。全ての人にとって明るい未来を実現させましょう!」とのメッセージがありました。

坂口インカミングガバナーの行動指針は「ロータリーの主体はR Iでも地区でもありません!クラブなのです」と自クラブの現状を見つめ直し「強いクラブ」を作って「クラブ強化と活性化のために行動してください!」との事で身の引き締まる思いでした。そのためにはやはり増強は最重要課題ですのご協力宜しくお願いいたします。

その後次年度ラーニングファシリテーターの水村バストガバナーが「元気なクラブづくり」をテーマにした基調講演があり「会員1人1人がクラブと地域社会に貢献していると実感出来るようなクラブを作るために」CLP(クラブ・リーダーシップ・プラン)目的は「会員の十分な意思疎通とスムーズなクラブ運営により、より効果的な奉仕活動を行うもの」で入間RCも細則、内規を変更し次年度から手探りではありませんが進めて行きます。

分科会では「真のクラブ・強いクラブとは?」のタイトルでディスカッションを行いエレクト同士の意見交換を通じて、クラブの強化に向

けた様々な視点や方策について考察しました。

常設委員長からの次年度活動計画発表
米山記念奨学統轄委員長には一柳会員が務めておりました。次年度は国際ロータリー会長のテーマ・ロゴ、ガバナーのテーマも廃止になり次年度からは国際ロータリー会長のメッセージのみになりました。1つ1つ準備しておりますが気持ちだけが焦ってしまい不安な気持ちで日々過ごしております。会員の皆様には是非とも温かい気持ちでご協力をしていただき「真のクラブ、強いクラブ」にしていきたいと思っておりますので宜しくお願いいたします。

<出席報告> 駒形一人委員長 事前欠席連絡2名

会員数	出席数	出席率	修正率
38名	25名	71.0%	-----

<ニコニコBOX> 細淵克則SAA

宮崎正文君, 晝間和弘君, 田中快枝君, 細淵克則君, 豊田義継君, 滝沢文夫君, 間野尚君, 一柳達朗君, 津藤淳也君, 駒形一人君, 倉片ガバナー補佐ようこそ入間RCへ。大塚会員我らの生業楽しみにしています。

晝間和弘君

細淵 SAA 先日の次年度地区役員の帰りに送っていただきありがとうございます。

細淵克則君

宮崎正文会長、先日の IM では送って頂きありがとうございます。

岩崎茂君

孫娘果穂がバスケットの盛岡の高校にスポーツ特待生推薦として入学しました。同孫娘みどりが全国チアダンス大会にて2年連続優勝しました。

本日¥45,000 累計¥683,000

■回覧、配布物

- ① ロータリーの友 4月号
- ② 訃報 吉沢誠十会員のご母堂吉沢文字儀
- ③ ロータリーの森奉仕活動参加のお願い
- ④ 入間市ゴルフ協会ご案内と申込書
- ⑤ 2027-2028年度ガバナー候補者公表
本庄ロータリークラブ五十嵐敦子様
- ⑥ 5/29 夜間例会(清河園)出欠席表
- ⑦ 4/22 入間南 RC 合同例会&ゴルフ会出欠表
- ⑧ プログラム 4, 5, 6月
- ⑨ 日帰り美術館・花見例会会計報告
- ⑩ ノスタルジックカーフェスタ開催案内
- ⑪ 米山記念奨学会委託状 菅野会員
- ⑫ 他ロータリークラブ週報&お知らせ
- ⑬ 週報 33, 34, 35号

🌸 会員卓話「我等の生業」🌸

🌸 大塚拓会員 🌸

なぜ政治家になったかを聞きたいとのリクエストを何名かからいただいた。そのお話を残った時間で昨今の情勢についてお話しします。



もともと父方、母方とも商売をやっている家に生まれ、政治との接点は皆無。父方祖父の遺言は「大塚家は政治にかかわらず」。

転機は大学2年、1994年。「GATT ウルグアイラウンド」の貿易交渉最終局面で自民党政権が倒れ政権交代、細川護熙内閣に。父方は明治時代から靴の製造業を営んできた。歴史的経緯から牛皮革関連産業は長年にわたり強力な保護政策がとられており、日本政府は諸外国からの市場開放圧力をしのいできていた。それが「寄せ集め内閣」と言われた細川政権の下での交渉で突然の市場開放となり、その後関連産業は大量倒産、惨憺たる状況に。初めて政治の影響の重大さと、国際政治に振り回される民間の現実を突きつけられた。同じころ、母方の祖父の人生を親戚から聞いた。祖父は能登半島の廻船問屋の跡取りとして生まれたが、家業を継ぐのがいやで小学校卒業後家を出て、大陸に渡って商売で財を成し、日露戦争で日本が新たに獲得した南樺太に進出、炭鉱を経営していた。しかし日本が戦争に敗れたため炭鉱を失い、戦後は石炭・石油商社を営む傍ら株式投資で財を成し、1973年株価がピークを迎えたころ亡くなった。その直後第4次中東戦争・オイルショックとなり、株価は暴落。遺族は株を売っても相続税が払えない状況に。祖父の人生を振り返ると、その節目はすべて戦争・国際政治であった。

こうしたことから、国際政治に強い関心を持ち、国際政治理論のゼミで猛勉強。当時は冷戦が終わり「パックスアメリカーナ」「歴史の終わり」などと言われ平和が続くという論調が主流だったが、歴史や理論に照らせば平和な時代は長続きせず、20年もすれば大きな戦争の危機が再び訪れるに違いないとの確信を得るに至った。

戦時中の話は、大正生まれだった父から繰り返し聞かされていた。再びそういう時代になれば、民間は重大な影響を受ける。そのリスクを避けることができるのは政治のみ。自分の人生を政治にかけるべきだと思った。なんの伝手もなかったが、銀行で修業しながら英語を習得、米国ハーバード大学ケネディ行政大学院に留学、世界から集う学生と国際政治・経済を学び、2005年に修士号を取得、その後欧州の大学院に行く予定をしていたが、虫の知らせで日本に一時帰国したところ突然の郵政解散に遭遇、初当選。思っていたより早く政治の世界に入った。

自民党本部で初めて安倍晋三さんとお目にかかった時、「政治家には『星』がある。それを自覚しているか否かが政治家の道を分ける」と言われた。自分にとっての星は、荒れる国際政治を切り抜け日本の平和と安全を守り抜く事だと思いながらお話しした。

安全保障という目的を達成する手段としては、防衛、経済、金融、制度、科学技術、ソフトパワー、これらの力に支えられた外交などがあるが、急ピッチで取り組むべき課題は多い。特に先端科学技術は国力の源泉だが、バブル崩壊後凋落が続き、AI・量子など多分野で非連続の変化が起きている中、競争から脱落寸前。必ず立て直す。

いま、世界はトランプショックで歴史の断層を迎えている。2月のトランプ・ゼレンスキー会談でアメリカが友好国を切り捨てるシーンを世界が見てしまった。そして今回のトランプ関税は世界に衝撃を与えている。戦後80年アメリカが主導して築いた自由貿易体制は崩壊。1930年代にアメリカが仕掛けた高関税政策が世界の分断を進め、第二次世界大戦の端緒をつくったという教訓に基づく世界秩序をアメリカ自身が破壊している。トランプ政権は「最適関税理論」に基づきアメリカだけは得をすることができるかと踏んでいるが、そうなるかは不明。実際の影響がどこまで深刻かもうしばらく推移をみる必要があるが、全く異なる時代に入った。同盟国としてのアメリカの信頼性にも疑問符が付く中、今後どのようにわが国の安全を図るか、これまでのシナリオが成立しなくなる可能性が高いと感じています。

発行 入間ロータリークラブ

■事務所：〒358-0005 入間市宮前町1-10 繁田醤油(株)内 Tel. 04-2964-1700 Fax. 04-2965-5788

■Email：iruma-rc@jupiter.plala.or.jp

■例会場：丸広百貨店入間店6Fパンケットホール Tel. 04-2963-1111

■例会日：木曜日 12:30~13:30 ■会報委員長：吉田勉

